

知事のロサンゼルス訪問

- 岸本知事は、5月20日（月）から5月24日（金）の日程で米国カリフォルニア州ロサンゼルスを訪れます。
- ロサンゼルスでは、和歌山県立近代美術館と全米日系人博物館の姉妹ミュージアム提携締結式典に出席します。※別添、補足資料参照
- また、和歌山フェア（現地スーパーでの県産食品販売フェア）の視察を行うとともに、本県出身者が多く移住したターミナルアイランド訪問や南加和歌山県人会との意見交換を行います。

記

- 1 訪問期間 令和6年5月20日（月）から令和6年5月24日（金）まで
- 2 訪問者 岸本周平知事、谷洋一和歌山県議会南北アメリカ諸国友好議員連盟会長ほか
議員4名、公益財団法人和歌山県国際交流協会等 計14名
- 3 知事日程

5月20日（月）	午後（日本時間）	関空発
5月20日（月）	午後（現地時間）	ロサンゼルス着 ジャパンハウス視察 在ロサンゼルス日本国総領事表敬訪問
5月21日（火）	午前 午後	初代南加和歌山県人会長 湯浅銀之助顕徳碑献花 ロサンゼルスマリタイムミュージアム視察 ターミナルアイランド視察 ロサンゼルスマリタイムミュージアム館長との 意見交換会 日米文化会館訪問 羅府新報訪問 南加和歌山県人会主催夕食会
5月22日（水）	午前 午後	和歌山フェア in カリフォルニア視察 和歌山県立近代美術館・全米日系人博物館 姉妹ミュージアム提携締結式典出席 和歌山県主催夕食会
5月23日（木）	午後	ロサンゼルス発
5月24日（金）	午後（日本時間）	関空着

＜お問い合わせ＞			
内容	ロサンゼルス訪問に関すること	姉妹ミュージアム提携に関すること	和歌山フェアに関すること
担当課	企画部国際課	和歌山県立近代美術館	農林水産部食品流通課
担当者	田井、西田	青木、奥村（一）	伊佐、井汲
電話	073-441-2055	073-436-8690	073-441-2815

和歌山県立近代美術館と全米日系人博物館の姉妹ミュージアム提携について

開館当初から和歌山県ゆかりの渡米画家を収集の軸に据え、研究を重ねてきた和歌山県立近代美術館と、日系アメリカ人の歴史を全米規模で収集・公開する博物館である全米日系人博物館は、2024 年 5 月、日系移民の歴史を軸とした多様なミュージアム活動を目指して、姉妹ミュージアム提携を結びます。

● 目的

渡米画家の作品やその歴史的背景として移民史を扱う和歌山県立近代美術館と、日系アメリカ人に関する資料を包括的に収集・公開する全米日系人博物館は、互いに遠く離れた地に存しながらもひとつの歴史とコミュニティを共有しています。移民を送り出した側と迎え入れた側である両国・両地域の 2 館が、継続的な協力関係を結びつつ対話を継続することで、現代の国際社会に欠かすことのできないトランスナショナル(国家の枠組みを超えた)な視点に立った博物館活動を展開するための土台を築くことを目的とします。

● 経緯と転換点:「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展

和歌山県立近代美術館は開館当初から、県ゆかりの渡米画家を収集の軸に据え、研究を重ねてきましたが、その背景には和歌山県が、海外への移民が全国第6位に上る「移民県」であった事実があります。2023 年秋に和歌山県が主催した第 2 回和歌山県人会世界大会を記念する特別事業として開催した「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展は、美術館が美術作品だけでなく、多様な移民史資料をあわせて紹介した、画期的な展覧会となりました。



この企画の実現にあたっては、太地町歴史資料室や和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山市立博物館など県内各機関の協力に加え、全米日系人博物館の全面的なサポートが欠かせませんでした。

全米日系人博物館と連携した活動としては、すでに2度の国際シンポジウムや、県内の学校と連携したオンライン授業なども実施しています。

● 今後の展開

専門職員同士の交流や合同調査研究のほか、一般を対象とした普及事業の実施、学校教育における美術を通じた移民史教育を計画しています。また両館が協力した展覧会の実現も目指します。

全米日系人博物館(JANM・ジャノム)

日系アメリカ人の経験を共有することによって、アメリカの民族的・文化的多様性への理解と認識を深めることを目指した博物館。1992 年開館。



姉妹ミュージアム提携締結後、近代美術館からあらためてプレスリリースいたします。